

# 平成 28 年度事業報告書

## 事業内容

1. 世界の各時代の衣服、装身具及び関連する文献、資料等の収集、保存、及び公開  
(デジタル・データを含む)

### (1) 収 集

- 1) 研究・公開に必要な衣服、装身具等の収集

寄贈：40 点

・ベルンハルト・ウィルヘルム ドレス 2015 年秋冬、他 2 点／  
Bernhard Wilhelm/Günther SARL より

・津村耕佑 コート「マザー」2000 年、他 2 点／津村耕佑氏より

・カステルバジャック シャツ 1976 年、他 13 点／小山壽美代氏より

その他

購入：47 点

・紳士用ウエストコート イタリア 1740 年代

・クレージュ チュニック、パンツ 1960 年代

・イリス・ヴァン・ヘルペン ドレス 2016 年秋冬オートクチュール

その他

購入金額 28,228,721 円

〈累計点数〉12,938 点

(衣服類5,518点、下着類2,313点、アクセサリ類4,074点、その他1,033点)

- 2) 図書・文献・版画等、服飾文化とその社会背景の研究に必要な資料の収集

寄贈：11 点

購入：13 点

購入金額 1,760,800 円

〈累計点数〉17,453 点

### (2) 保 存・修 復

- 1) 第 2 収蔵庫の開設

- 2) 収蔵庫内環境の安定的維持

・第 2 収蔵庫用収納棚の製作 41 台

・中性紙ボードによる箱の製作 28 箱

- 3) 新規収集品、展示収蔵品のコンディション記録、及び防虫・防黴対策
- ・脱酸素処理 65 点  
新収蔵品 59 点、貸出品 5 点、素材劣化作品 1 点
  - ・目視、バキュームによる処理 208 点  
新収蔵品 63 点、展覧会出展品 53 点、貸出品 92 点
  - ・ドライクリーニング 31 点  
新収蔵品 31 点
- 4) 収蔵品の補修
- ・19 世紀-20 世紀前半のドレス 21 点
- 5) 収蔵品の記録用写真撮影
- ・新収蔵品 92 点
  - ・収蔵品撮り直し 13 点
  - ・研究誌誌面用 20 点
  - ・写真家による撮影 77 点
- 6) 他館収蔵品の補修
- ・昭憲皇太后の御大礼服 1 点  
横浜美術館「ファッションとアート 麗しき東西交流」展に借用展示する共立女子大学博物館所蔵の御大礼服の補修を、展示による負担軽減を目的として、所蔵館の認可の下で実施した。

### (3) 公 開

- 1) 「Elegance and Splendour of Art Deco. The Kyoto Costume Institute, Jewelry Houses Cartier and Van Cleef & Arpels」展の開催  
会場：モスクワ・クレムリン美術館  
会期：2016 年 9 月 29 日（木）～2017 年 1 月 11 日（水）  
主催：モスクワ・クレムリン美術館、公益財団法人京都服飾文化研究財団、カルティエ社、ヴァン クリーフ&アーペル社  
展示：衣装類（1900～20 年代） 計 40 点  
装身具（バッグ、帽子、靴、ヒール等） 計 43 点  
ファッション・プレート 計 37 点  
入場者：355,000 人
- 2) 堺 アルフォンス・ミュシャ館「ミュシャとコスチューム」展への出展協力  
会場：堺市立文化館 堺 アルフォンス・ミュシャ館  
会期：2016 年 3 月 12 日（土）～6 月 12 日（日）  
主催：公益財団法人 堺市文化振興財団、堺市立文化館 堺 アルフォンス・ミュシャ館

協力：公益財団法人京都服飾文化研究財団  
貸出：ウォルト デイ・ドレス、他 計2点  
入場者：10,389人

- 3) サルヴァトーレ・フェラガモ美術館「TRA ARTE E MODA (アートとファッションを超えて)」展への出展協力  
会場：サルヴァトーレ・フェラガモ美術館、他  
会期：2016年5月19日(土)～2017年4月7日(日)  
(貸出は2016年11月6日(日)まで)  
主催：フェラガモ財団、サルヴァトーレ・フェラガモ美術館  
貸出：ペーパー・ドレス、他 計3点……①  
イヴ・サンローラン「モンドリアン」ドレス、他 計3点……②  
(展示期間：①5月17日～8月1日 ②8月2日～11月6日)  
入場者：40,788人
- 4) 京都国立近代美術館「メアリー・カサット展」への出展協力  
会場：京都国立近代美術館  
会期：2016年9月27日(火)～12月4日(日)  
主催：京都国立近代美術館、NHK 京都放送局、NHK プラネット近畿、読売新聞社  
貸出：デイ・ドレス (バessler・スタイル) 1875年頃 1点  
入場者：60,681人
- 5) ワコールスタディーホール京都での収蔵品紹介  
会場：ワコールスタディーホール京都  
① 期間：2016年8月9日(火)～12月29日(木)  
貸出：書籍『LE BON TON, JOURNAL DES MODES, 1839』  
② 期間：2017年1月20日(金)～6月30日(金)  
貸出：書籍『PAN annuaire du luxe à Paris』
- 6) KCI ギャラリーにおける収蔵品紹介  
① 期間：2016年1月18日(月)～4月22日(金)  
展示：収蔵品紹介 XX：衣装の縫い目が語ること：18世紀ドレスのレプリカ製作過程  
入場者：392名  
② 期間：2016年5月16日(月)～8月19日(金)  
展示：収蔵品紹介 XXI：日本のイメージ：現代ファッションのモチーフから  
入場者：306名

- ③ 期間：2016年9月26日（月）～12月22日（木）  
展示：収蔵品紹介 XXII：教育者としてのデザイナー：山脇敏子の軌跡を辿って  
入場者：271名
- ④ 期間：2017年1月30日（月）～4月28日（金）  
展示：収蔵品紹介 XXIII：ここちよく、美しく。 ～ファッションにみる快適さへの夢  
入場者：326名

7) デジタル・アーカイブスの整備と公開

- ① KCI ホームページ内デジタル・アーカイブスの収録作品の増補  
閲覧デバイスの多様化（スマートフォン等）に対応するため、レイアウトを改変し、レスポンシブデザインを導入した。
- ② KCI スタディ・ルームでの衣装収蔵品データ・ベースの公開
- ③ 一般公開型デジタル・アーカイブス「KCI Fashion Archives」（スパイラルにて設置）の公開および収録作品の増補準備
- ④ Google Cultural Institute への収蔵品情報提供及び WEB 公開の準備  
平成 29 年度上期中に公開予定

2. 収蔵品・資料に基づく衣服及び衣服と諸分野の関連についての調査・研究

- (1) 科学研究費助成事業「ジャポニスム期に流出した在欧洲におけるきもの及び日本染織品の保有状況の調査」（基盤研究（C））の継続調査  
平成 26 年度科研費基盤研究（C）の採択研究の最終年度として、研究報告書『ヨーロッパに眠る「きもの」 ジャポニスムからみた在欧美術館調査報告』を東京美術出版社より刊行した（1300部）。  
助成：科研費基盤研究（C）（平成 26-28 年度）  
テーマ：「ジャポニスム期に流出した在欧洲におけるきもの及び日本染織品の保有状況の調査」  
代表研究者：周防珠実  
共同研究者：深井晃子  
研究協力者：長崎巖（共立女子大学教授）、小島咲（共立女子大学助手）

(2) KCI 収蔵品及び現代ファッションの調査・研究

- 1) モスクワ・クレムリン美術館「Elegance and Splendour of Art Deco. The Kyoto Costume Institute, Jewelry Houses Cartier and Van Cleef & Arpels」展に関する調査
- 2) 横浜美術館「ファッションとアート 麗しき東西交流」展に関する調査

- 3) 練馬区立美術館「19世紀パリ時間旅行―失われた街を求めて―」展に貸出予定の収蔵品に関する調査
  - 4) ファッションにおける日本の影響に関する調査  
2018年より米国での展覧会開催を視野に入れた出展品等の調査
  - 5) 2019年特別展に関する調査
- (3) KCI収蔵品のパターンの研究・作成、レプリカの作成
- 1) 19世紀ドレスのパターン作成  
パターン作成：梅野史子  
KCI所蔵の19世紀のバスル・ドレス1点(AC4228)について、ボディスのパターンを作成
  - 2) 20世紀キモノのパターン作成  
パターン作成：梅野史子  
KCI所蔵の20世紀のキモノガウン1点(AC13201)について、パターンを調査し、横浜美術館「ファッションとアート 麗しき東西交流」展の図録にパターンを掲載
  - 3) 19世紀末から20初頭初頭の紳士靴レプリカ製作
3. 収集品・資料の保存、公開に関する技術的研究と実践、及び施設の設備運営管理
- (1) 衣装収蔵庫の拡張、及び専用空調設備の増設  
現収蔵庫(約550平米)に隣接した第2収蔵庫(約250平米)を開設。乾燥時の加湿も含めた温湿度管理機材を導入した(29年度が始まり次第消毒を入れ、約10か月の枯らし期間を経て2018年1月より運用開始予定)。
  - (2) 収集品の写真類、及び資料のデジタル・データ化とその保管の推進
    - 1) 稀観本『PAN annuaire du luxe à Paris』(合計128カット)のデジタル・データ化
  - (3) 収蔵庫の温湿度管理、及び設備管理  
収蔵庫内の温湿度その他変化を常時監視し、所定の保存条件を維持するための管理
  - (4) KCIギャラリーの設備・展示什器の整備  
収蔵品展示のため、展示台、紹介パネル等を制作

- (5) 中長期事業計画立案に資する設備運営管理方法の調査・研究  
範例となる国内外の美術館・博物館の施設の調査
  - (6) 国内外の展覧会出展品のコンディションチェック (218 点)
  - (7) マネキン製作 (新素材 FOSSHAPE) 19 世紀特殊サイズ 2 体
4. 衣服文化に関する解説書、目録、及び研究報告書等の作成、及び頒布
- (1) 収蔵品目録、解説書、研究誌作成のための収蔵品写真撮影
    - 1) 写真家林雅之氏による写真撮影  
2016 年 7 月 25 日 (月) ~29 日 (金) 21 点
  - (2) 学術研究誌への研究論考投稿、専門紙誌、一般紙誌への服飾関連論考の寄稿
    - 1) 石関亮「Мода Эпохи Ар Деко В Собрании Института Костюма Киото (The Art Deco Fashion in the Collection of The Kyoto Costume Institute)」  
『Элегантность И Роскошь Ар Деко (Elegance and Splendour of Art Deco)』  
モスクワ・クレムリン美術館 2016 年 18-29 頁 (ロシア語翻訳)
    - 2) 石関亮「そしてファッション展は何を展示するのか?」『視る』485 号 京  
都国立近代美術館 2016 年 5-6 頁
    - 3) 周防珠実「明治期の輸出室内着」『ファッションとアート 麗しき東西交  
流』 横浜美術館、京都服飾文化研究財団編著 六耀社 2017 年 162-166  
頁
    - 4) 筒井直子「The influence of the Japanese Art on the style of the Art Deco fashion  
illustration」『Элегантность И Роскошь Ар Деко (Elegance and Splendour of Art  
Deco)』 モスクワ・クレムリン美術館 2016 年 48-57 頁 (ロシア語翻訳)
    - 5) 小形道正「ファッション・デザイナーの変容——モードの貫徹と歴史化の  
行方」『社会学評論』67 卷 1 号 日本社会学会 2016 年 56-72 頁 (査読  
有)
    - 6) 小形道正「戦後日本社会における着物の歴史社会学的研究」『サントリー文  
化財団 2014 年度若手研究者のためのチャレンジ研究助成成果報告書』 サン  
トリー文化財団 2016 年 9-10 頁

- 7) 小形道正「事件を描くとき——〈外〉からの疎外と内なる〈外〉」奥村隆編『作田啓一 vs. 見田宗介』 弘文堂 2016年 180-214頁 (依頼有)
- (3) 財団研究誌『Fashion Talks...』3号(春季)、4号(秋季)発行、及び『ドレスタディ』掲載の論考の KCI ホームページ上での公開
- (4) 財団広報誌『服をめぐる』4号(7月)、5号(11月)、6号(3月)発行、及びバックナンバーの KCI ホームページ上での公開
- (5) 科研費報告書『ヨーロッパに眠る「きもの」 ジャポニスムからみた在欧美術館調査報告』の出版企画及び編集
- (6) モスクワ・クレムリン美術館「Elegance and Splendour of Art Deco」展カタログへの寄稿及び作品解説執筆
- (7) 横浜美術館「ファッションとアート 麗しき東西交流」展カタログへの寄稿及び作品解説執筆
- (8) 練馬区立美術館「19世紀パリ時間旅行—失われた街を求めて—」展カタログへの作品解説等執筆
5. 衣服文化に関する講演会、研究会等の主催、及び学校、企業等と連携して行う社会教育及び専門家の育成
- (1) 大学等における服飾史等の講義
- 1) 京都精華大学 「ファッション史」(前期学期 全15回) 筒井直子
- 2) エスペランサ靴学院 「デザイン史」(特別講義 3日間) 筒井直子
- 3) 同志社大学 「デザイン理論Ⅱ」(後期学期 全15回) 周防珠実
- (2) シンポジウム・講演・研究会等への参加
- 1) ニュイ・ブランシュ KYOTO 2016 企画展示関連トークセッション  
 展覧会名：Nous tournons toujours le dos au couchant わたしたちは しずむ夕陽にたえず背をむけるのだ  
 講演者：石関亮 (ヴァンサン・ロマニー氏とともに)  
 日時：2016年9月17日(土)  
 会場：千總ギャラリー  
 主催：(株)千總 千總ギャラリー

- 2) 応用哲学会サマースクール  
講演会名：「衣服の博物学」  
講演者：筒井直子  
日時：2016年8月31日  
会場：キャンパスプラザ京都  
主催：応用哲学会
  
- 3) 講演会名：「KCIの活動と教育普及について」  
講演者：筒井直子  
日時：2016年10月28日  
会場：お茶の水女子大学  
主催：お茶の水女子大学 生活科学部 生活文化学講座
  
- 4) ワコールスタディーホール京都スクール講座  
講演会名：「ファッションで観る絵画～メアリー・カサット」  
講演者：筒井直子  
日時：2016年11月4日  
会場：ワコールスタディーホール京都  
主催：ワコールスタディーホール京都
  
- 5) ワコールスタディーホール京都スクール講座  
講演会名：「matohu 日本の美意識を生活にいかす」  
講演者：筒井直子（堀畑裕之氏、関口真希子氏とともに）  
日時：2016年12月10日  
会場：ワコールスタディーホール京都  
主催：ワコールスタディーホール京都
  
- 6) 講演会名：「西洋服飾の実物遺品の保存活動と展覧会について」  
講演者：筒井直子  
日時：2016年12月20日  
会場：日本女子大学  
主催：日本女子大学 家政学部 被服学科
  
- 7) 講演会名：「KCIの活動とコルセットの歴史」  
講演者：筒井直子  
試着指導（レプリカコルセット）：筒井直子、上山尚子  
日時：2017年1月25日、26日  
会場：丸子修学館高等学校、屋代南高等学校  
主催：長野県教育委員会



- 8) 講演会名：「京都とファッション」  
講演者：筒井直子（成実弘至氏、百々徹氏とともに）  
日時：2017年2月10日  
会場：ロームシアター京都  
主催：京都精華大学
- 9) 講演会名：『作田啓一 vs.見田宗介』を読む——スペシャル・トーク&書評セッション in 京都」  
講演者：小形道正（井上俊氏、櫻村愛子氏、小丸超氏、他同書執筆者とともに）  
日時：2017年3月10日  
会場：京都大学  
主催：S/M研 [作田啓一／見田宗介研究会]

(3) KCI ギャラリーでの展示品解説、及び関連レクチャーの実施

- 1) 年間を通じた来場者に対する作品解説
- 2) 京都市内の博物館等連携事業「第22回京都ミュージアムロード」に参加し、期間中来場された市民・観光客に作品解説を実施した。  
主催：京都市内博物館施設連絡協議会、京都市教育委員会  
期間：2017年1月25日（水）～3月20日（月）

(4) 学芸員資格取得志望学生のための博物館実習開講

会期：2016年8月22日（月）～26日（金）  
受講者：公募審査による14名

(5) キュレーター及びレストアラー（修復技術者）の育成

- 1) 展覧会、ギャラリー展示、講演会等の企画立案・実施
- i. 三菱一号館美術館「PARIS オートクチュール—世界に一つだけの服」展への展示協力  
主催：三菱一号館美術館、日本テレビ放送網、ガリエラ宮パリ市立モード美術館、パリ・ミュゼ  
特別協力：公益財団法人京都服飾文化研究財団  
企画協力：NTV ヨーロッパ

- ii. ベルギーファッションイベントへの協力  
 題名：日本 × ベルギー「ベルギーファッション」  
 主催：公益財団法人フランダースセンター、協同組合関西ファッション連  
 合 (KanFA)  
 会場：ナレッジシアター (大阪)  
 日時：2016年10月14日 (金)  
 内容：「日本・ベルギー友好150周年」および「公益財団法人フランダ  
 スセンター40周年」を記念した文化イベントである。アントワープ  
 王立芸術アカデミーやモード美術館 (MoMU) に関するプレゼンテ  
 ーションおよびトークを実施した。KCIは協力団体として名を連ね  
 る。名誉キュレーターの深井晃子氏も登壇した。
  
- 2) 収蔵品、新収集品の調査・研究
  
- 3) 現代ファッションの動向調査、資料収集
  - i. デザイナーのデータ (作品、経歴、特徴等) の収集整理
  - ii. ファッション情報収集 (パリその他のコレクション情報含む)
  
- 4) 博物館実習のカリキュラム作成、運営
  
- 5) 学会、シンポジウム、発表会、展覧会等への参加、視察研修
  - i. ICOM 第24回大会 (ICOM Milano 2016) 及びコスチューム委員会への参  
 加  
 会場：MiCo Milano Congressi (ミラノ)  
 日時：2016年7月4日 (月) ~9日 (土)  
 出張者：石関亮  
 内容：ICOM (国際博物館会議) の国内委員会と国際委員会のすべてが集  
 る3年に一度の大会。次回2019年は京都での開催が予定されてお  
 り、コスチューム委員会の総会及び研究会も行われるため、大会の  
 運営状況等の視察を行った。
  
- 6. 国内外の博物館等と連携し、刊行物及び情報の交換、資料の相互貸借等の実施、こ  
 れに基づく国際文化交流
  - (1) 展覧会の企画・出展協力
    - 1) 「Elegance and Splendour of Art Deco」展の開催

- 2) 「ファッションとアート 麗しき東西交流」展の企画及びカタログ編集
  - 3) 東西交流をテーマにした米国での巡回展の企画
  - 4) 堺 アルフォンス・ミュシャ館「ミュシャとコスチューム」展への出展協力
  - 5) サルヴァトーレ・フェラガモ美術館「TRA ARTE E MODA (アートとファッションを超えて)」展への出展協力
  - 6) 京都国立近代美術館「メアリー・カサット展」への出展協力
  - 7) 三菱一号館美術館「PARIS オートクチュール」展への展示・執筆協力
- (2) 海外美術館の服飾所蔵品に関する調査、情報交換  
「ジャポニスム期に流出した在欧州におけるきもの及び日本染織品の保有状況の調査」を実施した（担当者：深井晃子、周防珠実）。  
本年度は、研究報告書『ヨーロッパに眠る「きもの」 ジャポニスムからみた在欧美術館調査報告』を東京美術出版社より刊行した。
- (3) 時代マネキンの紹介  
平成 22 年度に監修・開発した 18 世紀紳士用マネキンを含めて紹介・普及

以 上

処務の概要

1. 役員等に関する事項

平成 29 年 3 月末現在役員等

役職	氏名	就任年月日		初就任年月日
理事長	塚本 能交	H28. 6. 24	(株)ワコールホールディングス 代表取締役社長	S63. 6. 3
常務理事	山本喜久雄	H28. 6. 24	(公財)京都服飾文化研究財団 事務局長	H25. 3. 15
理事	五十嵐耕一	H28. 6. 24	(一財)桐仁会 理事長	H11. 6. 12
理事	千 容子	H28. 6. 24	(一社)茶道裏千家淡交会 副理事長	H20. 6. 12
理事	中牟田健一	H28. 6. 24	共栄興産株式会社顧問	H20. 6. 12
理事	濱本 英輔	H28. 6. 24	(株)ロッテ 顧問	H8. 6. 12
理事	深井 晃子	H28. 6. 24	(公財)京都服飾文化研究財団 名誉キュレーター	H8. 6. 12
理事	吉田 忠嗣	H28. 6. 24	京都織物卸商業組合 副理事長	H12. 3. 22
監事	白井 弘	H28. 6. 24	公認会計士	H28. 6. 24
監事	大林 剛郎	H28. 6. 24	(株)大林組 代表取締役会長	H20. 6. 12

1-1. 役員等の異動

- 1) 理事の小菅 國安氏、監事の海原 且氏が平成 28 年 6 月 24 日退任されました。
- 2) 白井 弘氏が平成 28 年 6 月 24 日、新たに監事に就任されました。

役職	氏名	就任年月日		初就任年月日
評議員	岩城 見一	H25. 7. 1	京都国立近代美術館 元館長	H18. 6. 5
評議員	逢坂恵理子	H25. 7. 1	横浜美術館 館長	H20. 6. 12
評議員	木下 直之	H25. 7. 1	東京大学大学院 教授 静岡県立美術館 館長	H25. 7. 1
評議員	小池 一子	H25. 7. 1	武蔵野美術大学 名誉教授	H3. 4. 1
評議員	建畠 哲	H25. 7. 1	多摩美術大学 学長 埼玉県立近代美術館 館長	H20. 6. 12
評議員	芳賀 徹	H25. 7. 1	東京大学 名誉教授	H6. 6. 3
評議員	長谷川 祐子	H25. 7. 1	東京都現代美術館 チーフ・キュレーター	H25. 7. 1
評議員	廣島 清隆	H26. 6. 24	(株)ワコールホールディングス 常勤監査役	H26. 6. 24
評議員	宮島 久雄	H25. 7. 1	高松市美術館 前館長	H14. 6. 12
評議員	若林 正哉	H26. 6. 24	(株)ワコールホールディングス 取締役副社長	H26. 6. 24
評議員	鷺田 清一	H25. 7. 1	京都市立芸術大学 理事長・学長	H3. 4. 1

## 1-2. 役員等の異動

1) 評議員の稲垣 直樹氏が平成 28 年 6 月 20 日に辞任されました。

## 2. 役員会等に関する事項

### (1) 理事会

開会月日	議事事項	会議の結果
第 18 回理事会 H28. 6. 10	1) 平成 27 年度事業報告書、財務諸表（貸借対照表、貸借対照表内訳表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対する注記及び附属明細書）並びに財産目録、監査報告の件 2) 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の決定の件 3) 規程（看護休暇、介護休暇）の改定の件	承認可決  承認可決 承認可決
第 19 回臨時理事会 H28. 6. 24	1) 代表理事及び執行理事選任の件	承認可決
第 20 回理事会 H29. 3. 15	1) 平成 29 年度事業計画及び収支予算書の件 2) 特定資産（展覧会積立資産）取崩の件 3) 規程（育児・介護関連規程）の改定の件	承認可決 承認可決 承認可決

### (2) 評議員会

開会月日	議事事項	会議の結果
第 8 回評議員会 H28. 6. 24	1) 平成 27 年度事業報告書、財務諸表（貸借対照表、貸借対照表内訳表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対する注記及び附属明細書）並びに財産目録の件 2) 任期満了に伴う理事、監事の選任の件 3) 定款（別表・財産目録）変更の件	承認可決  承認可決 承認可決

### 3. 寄附金及び助成金に関する事項

#### (1) 寄附金

(単位:円)

寄附の目的・用途	寄附者	申込金額	種類	領収金額	受入月
指定正味財産 (基本財産)	株式会社ワコール	10,000,000	現金	10,000,000	2016年4月
指定正味財産 (特定資産)	株式会社ワコール	2,000,000	現金	2,000,000	2016年10月
一般正味財産 (公益目的事業及び 法人運営費用)	株式会社ワコール	100,000,000	現金	100,000,000	2016年4月
一般正味財産 (公益目的事業及び 法人運営費用)	株式会社ワコール	78,000,000	現金	78,000,000	2016年10月

合計 190,000,000 円

#### (2) 助成金

(単位:円)

助成金対象事業	助成者	助成金額	種類	内容
「PARIS オートク チュール」展	三菱地所株式会社 三菱一号館美術館	540,000	現金	「PARIS オートク チュール」展 特別協力金
平成28年度 科学研究費	独立行政法人 日本学術振興会	360,000	現金	科研費の間接経費分 を譲渡

合計 900,000 円